

研究課題名	血液透析がん患者におけるオピオイドの薬物相互作用による有害事象に関する多機関共同研究 (後方視的観察研究)
実施責任者	所属・職名：薬剤部 副薬剤部長
	氏名： 牛腸 沙織
研究の概要	血液透析を受ける患者さんは、通常よりもたくさんの種類のお薬を服用されています。また、がん性疼痛を緩和するためのお薬には相互作用により作用が強くなるものもあります。今回は透析をしつつがんによる痛み止めを使用した患者さんを対象に、薬の相互作用による副作用や痛みの変化について、また薬剤師の視点から薬物相互作用を予測して副作用を軽減できていたかについて調査します。この研究のために新たな採血、問診、検査等はいりません。
対象となる個人情報	電子カルテシステムにより情報を収集しますが、「匿名化」を行い、他施設で共有するデータファイルに個人情報を記載することはありません。
実施の期間	西暦 2014年 4月 1日より
	西暦 2024年 7月 31日まで
研究対象	血液透析をしながら、がんの痛みに対し、強オピオイド（タペンタドール、モルヒネ、オキシコドン、ヒドロモルフォン、フェンタニル、メサドン）を使用した患者様